

複式5・6年 社会科学習指導案

5年 男子3名 女子4名 計7名
6年 男子4名 女子4名 計8名
指導者 鮫島 真一

- 1 単元 5年 「情報化した社会とわたしたちの生活」 小単元「情報を生かすわたしたち」
6年 「世界の中の日本」 小単元「日本とつながりの深い国々」

2 小単元について

(1) 小単元の位置とねらい

(第5学年)

これまでに子どもたちは、4年「世界とつながるわたしたちの国」や5年「わたしたちの生活と食料生産、工業生産」などでインターネットを使った情報収集を行ったり、日頃の生活の中でテレビや携帯電話等の情報機器に触れたりしている。しかし、その情報化の進展の利点だけでなく、問題点が存在していることについて十分理解しているとは言えない。

そこで本小単元では生活における情報活用の様子から学習問題を見いだし、各種の資料やインターネット等を活用して必要な情報を集め、読み取ったことをまとめる活動を通して、情報の有効利用をしようとする態度や情報を送る側になった場合の責任ある行動をしようとする態度を養うことをねらいとしている。

この学習は、次単元の「わたしたちの生活と環境」で、環境破壊の実態を情報機器を使って調べる活動や6年「世界の中の日本」で他国の文化や習慣を調べる活動に発展していくものである。

(第6学年)

これまでに子どもたちは、3年生で身近な自分の町、4年生で自分たちの国、5年生で自分たちの国についてその枠を広げながら、土地の様子や産業の特徴を捉え、自分なりに考え、生活に生かす学習活動を展開してきた。その間、情報収集の仕方を習得したり、そこに住む人々の苦労や工夫などの心情に同感したりする態度が育ってきている。

そこで本小単元では、更に、世界の国々へ目を向け、我が国と経済や文化の面でのつながりが深い国の人々の生活の様子に関心を持ち、積極的に調べる活動を設定した。そのことにより、外国の人々とともに生きていくためには異なる文化や習慣を尊重することの大切さを理解することをねらいとしている。

この学習は、次単元「世界の未来と日本の役割」で、世界の中で日本はどのようにして、協力し合ったり支援体制を築いたりしていけばよいか、また、日本人としてどのような考えで世界の人々と共に生きていけばよいかなど、その生き方を考える活動へと発展していくものである。

(2) 子どもの実態

第5学年 (調査日時:平成24年1月10日, 人数:7名)	第6学年 (調査日時:平成24年1月10日, 人数:8名)
1 社会科学習について	1 社会科学習について
① 社会科で楽しいことは何ですか。 調べ学習をすること (4) 漁業を習うこと (3) 歴史を習うこと (1)	① 社会科で楽しいことは、何ですか。 調べ学習をすること (3) いろいろなことが分かる (3) 歴史が楽しい (2) 有名な人が出てくる (1) いろいろな発見ができる (1) 見学に行ける (1)
② 社会科を学習していて、困ることは何ですか。 ない (5) 探しても、見つからない (1) すみずみまで分からない (1)	② 社会科を学習していて、困ることは何ですか。 ない (4) 探しても、見つからない (2) 言葉が分からない (1) 人物が探せない (1)
③ 調べ学習の時、どんな方法で調べていますか。 (複数回答) 教科書 (6) 本 (5) 社会科資料集 (7) 新聞 (2) ラジオ (0) テレビ (3) インターネット (7) その他 (0)	③ 調べ学習の時、どんな方法で調べているか。 (複数回答) 教科書 (7) 本 (7) 社会科資料集 (7) 新聞 (0) ラジオ (0) テレビ (2) インターネット (7) その他 (0)
③ 調べたことをまとめ、発表するとき、どのような工夫をしていますか。 (複数回答) 表やグラフを使う (4) 大きな紙に書く (4) 大事なところの色や大きさを調える (4) イラストや絵を入れる (6) その他 (0)	④ 調べたことをまとめる時、どのような方法でまとめることができているか。 (複数回答) 表やグラフを使う (4) 大きな紙に書く (2) 大事なところの色や大きさを調える (5) イラストや絵を入れる (6) その他 (0)
2 学習内容(インターネット)に関すること	2 学習内容(他国との共生)に関すること
① インターネットで自分の知りたい情報を素早く探し出すことができますか。 素早く探し出せる (6) 探すのに時間がかかる (1) 探せないときがある (0) わけ[関係ないものが出てくるから]	① 日本とつながりの深い国はどこだと思いますか? アメリカ (1) 中国 (1) 韓国 (1) ロシア (1) ドイツ (1)
② インターネットで調べるときどんなことが困りますか? 困らない (2) 開けないサイトが多い (1) 打ったものが出てこない (1) やっているうちに変なことになる (1) 動画を見たいが画像を見ることができない (1) 無答 (1)	② アメリカのことで知っていることは、どんなことですか。 自由の女神 (3) 知らない (2) マッカーサー (1) 円高 (1) 広い (1) 黒人をいじめてた (1) 白人が多い (1) ユーロ安 (1) ペリー (1) ロサンゼルス (1) 人口が日本の2倍 (1) 首都ワシントンDC (1) ニューヨーク (1) ラスベガス (1)
③ インターネット使って、悪いことをする人たちがいることを知っていますか。また、それはどんなことですか。 知っている (5) 知らない (2) 人を騙してお金をとろうとする (1) うそを書いている (1) 知ってはいるが分からない (1)	③ 中国のことで知っていることは、どんなことですか。 人口が世界一 (1) 文字は漢字 (2) チャイナ (1) チャイナドレス (1) チンギスハン (1) 中毒 (1) 三国志 (1) 中国産 (1) 日本のものをよくまねる (1) サンザイケータイ (1) 知らない (3)

<p>④ メールを使って友だちや知らない人をいじめる人たちがいることを知っていますか。また、それはどんなことですか。 知っている（１） 知らない（６） 一人の人にみんなでメールを使って、悪口を書く</p> <p>⑤ インターネットを利用するとき、どんなことに気をつけなければならないですか？ だまされたり、お金を取られたりしないようにする。（１） なんでも押さないようにする（１）情報が正しいか確かめる（１） 変なページを開かない（１）信じられない情報に気をつける（１） 無答（１）</p>	<p>④ 韓国のことで知っていることは、どんなことですか。 K-POP（３） アイドルや俳優が日本に来てはやっている（２） 女性はほぼ整形美人（１） キムチ（２） 食べ物がおいしい（１） 朝鮮と戦争をしている（１） 生活用品が安い（１） 知らない（２）</p> <p>⑤ サウジアラビアのことで知っていることは、どんなことですか。 石油大国（３） 金持ち（１） 女の方は肌を出してはいけない（１） 面積の1/2以上が砂漠（１） 戦争をしている、知らない（３）</p> <p>⑥ 外国の人と仲良くなるにはどんなことに気をつけるべきですか。 その国の言葉を覚える（３）、挨拶をきちんとする（１） 相手の話していることを理解する（１）けんかをしない（１）</p>
<p>3 ガイド学習に関すること</p>	<p>3 ガイド学習に関すること</p>
<p>① ガイド役をうまくこなすことができるか。 できる（２） うまくできないときもある（５） うまくできない（０）</p>	<p>① ガイド役をうまくこなすことができるか。 できる（２） うまくできないときもある（６） うまくできない（０）</p>
<p>② ガイドをして困ることは何ですか。 話が通じない（３）話を聞いてくれない（３）発表してくれない（３） みんなの意見が合わない（１）質問に困る（１） 次に何を言うか分からなくなる（１）</p>	<p>② ガイドをして困ることは何ですか。 進め方が分からないとき（３）発表してくれないとき（２） することがなくなったとき、人の前に立つことに慣れていないので、みんなの視線に威圧感を感じる（１）</p>
<p>② 友達の発表に対して、質問や意見を言うことができるか。 言える（２） うまく言えないときもある（５） うまく言えない（０）</p>	<p>② 友達の発表に対して、質問や意見を言うことができるか。 言える（１） うまく言えないときもある（６） うまく言えない（１）</p>
<p><考察> 社会科の特徴である調べ学習が意欲を高めている。教科書や資料集、図書室に加え、今回は特にインターネットを利用させることを重要視したい。インターネットで調べる過程において、情報の効率的な収集の仕方やメディアリテラシーを身につけることができると思われる。 メディアリテラシーについては、思った以上に、知らないと答えた児童が多かった。調べるときに、今まで起こった事件を見つけさせ、その中身をはっきりさせ、被害者の心情を汲み取らせることにより、その行為がいかに良くないものであるかを訴えたい。 ガイドの進め方については、これまでも、発表が出ないときや進め方が途中で分からなくなったときに不安になっているので、事前に教師とガイドで入念な打ち合わせをし、黒板にタイムスケジュールを貼り、タイマーを準備し、時間を区切って進行するとともに意見の出し方や発表の仕方の工夫を事前に指導しておくことが大切である。</p>	<p>5年生同様、調べ学習が意欲を高めているので、いろいろなことが分かっていくごとに興味関心が高まってくるよう、効率的な調べ学習を展開したい。 調べたい国では、いろいろな国が挙がっているが、今回は日本と関わりが深い国ということで、4つの国に限定し、教科書や資料集を十分に活用し、かつ、インターネットで効率的に補足して調べられるように前もって関係サイトを調べておく等配慮したい。 各国のことは、思った以上に知っていたが、中国、サウジアラビアについては予想通り、知識が少なかった。中国については、近年の繁栄と歴史サウジアラビアについては、産業と宗教をしっかりと調べさせたい。 ガイドの進め方については、これも5年生同様、発表が出ないときや進め方について、マニュアルを用意し、不安を取り除くことが大切である。</p>

(3) 指導に当たって

〔視点3〕 間接指導時において主体的に学習を進めるための工夫

- デジタルコンテンツの活用
電子黒板やデジタルペンの活用
- 外部講師（ゲストティーチャー）の活用
4カ国の奄美在住の方がいらっしゃる場合、話をしていただけるようあたってみる。
テレビ電話の活用
質問したい方に来ていただけない場合を想定し、テレビ電話システムの利用を図ってみる。
- ワークシートの活用
ねらいに合った子どもの考えが導き出せるように、発表の流れに沿ったワークシートを作る。

〔視点4〕 複式社会科学習における「学び方」を育てる指導の手立て

- 「ガイド能力」の育成及び「学習の進め方」の定着
授業の始めに、「学習の進め方」を全員に確認させることにより、ガイド以外の子どもたちが一時間の学習の流れをしっかりと把握できるようにしていく。また、ガイドの手引きを作成することにより、間接指導時の学習をスムーズに進められるようにしていく。

3 小単元の目標

(1) 情報に囲まれた生活に関心をもち、その利点や問題点について意欲的に調べるとともに生活の中でどのように情報を活用していけばよいかについて考え、有効に活用しようとしている。

(社会的事象への関心・意欲・態度)

(2) 生活における情報の活用について、学習問題や予想、学習計画を考え、表現するとともに、情報を有効に活用するためには情報化の進展の利点と問題点を理解し、責任ある利用の仕方をするのが大切であることを考え発表したり、作品に表現したりすることができる。

(社会的な思考・判断・表現)

(3) 生活における情報の活用の様子について、各種の資料やインターネットなどを活用して必要な情報を集め、情報化の進展には様々な利点と問題点があることを読み取ることができる。

(資料活用などの技能)

(4) わたしたちを取り巻く情報には、生活に役立つ情報だけではなく、一方的に送られてくるものや不利益を与えるものもあること、情報の活用の仕方を誤ると犯罪被害や他者を傷つけるなどの問題を生じるおそれがあり、責任ある活用が求められることがわかる。

(社会的事象についての知識・理解)

(1) 我が国と経済や文化などの面でつながりが深い国々の人々の生活に関心をもち、外国人や外国での生活経験がある人に進んで話を聞いたり、関する資料を収集したりして意欲的に調べようとしているとともに、異なる文化や習慣を尊重しようとしている。

(社会的事象への関心・意欲・態度)

(2) 我が国の経済や文化の面でつながりが深い国の人々の生活の様子について、学習問題や予想、学習計画を考え、表現しているとともに、文化や習慣を比較することを通して、それぞれに大切にしている文化や習慣があり、外国の人々と共に生きていくためには異なる文化や習慣を理解し合うことが大切であることについて考え適切に表現することができる。

(社会的な思考・判断・表現)

(3) 我が国の経済や文化の面でつながりが深い国の人々の生活の様子について、外国人や外国での生活経験がある人に進んで話を聞いたり、地図や電子黒板、各種資料を活用したりして、必要な情報を集め、特色のある文化や習慣、我が国とのつながりなどを読み取り、白地図や作品などにまとめることができる。

(資料活用などの技能)

(4) 我が国と経済や文化などの面でつながりが深い国の人々の生活の様子やそれぞれの国には大切にしている文化や習慣があること、外国の人々と共に生きていくためには異なる文化や習慣を理解し合うことが大切であるとわかる。

(社会的事象についての知識・理解)

4 小単元の構造

第5学年

(中心概念)

(基本的事項)

(重要事項・内容)

今の時代には、様々な情報を有効に活用しながら適切に判断し、望ましい行動をとることが大切である。

わたしたちの暮らしはいろいろな情報を活用することにより、さらに生活が便利になってきた。

- ウェブサイト
- 携帯電話
- コンビニストアの情報
- 戦略
- インターネットショッピング

情報が普及するにつれて、インターネットに関係する犯罪やいじめが増えてきている。情報を活用する上で、自分ばかりでなく、他人の利益も考えることが必要である。

- メディアリテラシー
- インターネット犯罪
- 著作権

第6学年

(中心概念)

(基本的事項)

(重要事項・内容)

日本とは、経済や文化の面でつながりの深い国々があり、これから共に生きていくためには互いの文化や習慣をお互い理解し合う必要がある。

食べ物、スポーツ資源、文化など身の回りには外国から入ってきたものがたくさんあり、日本とつながりの深い国がある。

- 輸出入
- つながり
- 異文化
- 宗教

アメリカは、国土が広く、農業や工業もさかんで、政治や経済・文化の面でも世界から注目され、日本とのつながりはとても深い。

- 車社会
- ハロウィン
- キリスト教
- 人種
- グローバル化
- 飛び級

中国は、古くから文明が栄え、中国から日本に伝えられたものは多い。近年、急速に経済発展を続けており、日本との交流も活発に行われてきている。

- 世界一の人口
- 古代文明
- 一人っ子政策
- 漢字
- 経済特区
- 留学生
- 春節

韓国は、日本に最も近い外国の一つで結びつきが強いが、植民地支配の歴史がある。最近では、お互いの国のドラマや漫画等が人気を集めている。

- 南北統一
- 文化交流
- 儒教
- インターネットの普及
- ハングル
- キムチ
- 伝統的衣装
- 文化交流

サウジアラビアは、気温が高く暑い時間帯の仕事は避ける。砂漠が多く、雨は少ないが石油が豊富で日本は大量に輸入している。

- イスラム教
- メッカ
- モスク
- コーラン
- 男女別
- ラマダン
- 金曜日休日

5 指導計画

(第5学年；全6時間)

(第6学年；全8時間)

指導上の留意点	主な学習活動	時	指導の傾斜	時	主な学習活動	指導上の留意点
<p>○ 学習問題をしっかりと立てるために、他教科の授業を入れたずらしを組み込む。</p>	<p>※ 他教科の授業</p>			1	<p>1 電子黒板に映った場面を見て気付いたことや思ったことを話し合う。</p> <p>2 学習問題を設定し、学習計画を立てる。</p> <p>(1) 学習問題を設定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>日本とつながりの深い国の人々は、どのような生活をしているのだろう。</p> </div> <p>(2) 学習問題について予想を立てる。 (3) 追究の柱・学習計画を立てる。</p> <p>追究の柱1 自分たちの調べたい国について文化や習慣を調べよう。</p> <p>追究の柱2 その国の自然や産業にはどのようなものがあるのだろう。</p>	<p>○ 子どもたちに問題意識をもたせるために、以下の提示資料を準備し、電子黒板で提示する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 日本と外国でお互いに携帯でやりとりしている場面 ◆ 日本と外国でお互いにテレビ電話でやりとりしている場面 ◆ 各国の風景写真 <p>○ 実態調査の結果を使い、どのあたりまで自分たちが知っているのかを認識させ、追究の柱を決めさせる。</p> <p>○ 社会科学的な面と自然科学的な面の両方を調べさせる。</p> <p>○ デジタルペンを使い、子どもたちの話し合いの効率化を図る。</p>
<p>○ 子どもたちに問題意識をもたせるために、以下の提示資料を準備し、電子黒板を使い提示する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 教科書の挿絵 ◆ 食べログのホームページ ◆ 食べログのやらせ発覚のニュース 	<p>1 電子黒板に映った場面を見て気付いたことや思ったことを話し合う。</p> <p>2 学習問題を設定し、学習計画を立てる。</p> <p>(1) 学習問題を設定する。 (2) 学習問題について予想を立てる。 (3) 追究の柱・学習計画を立てる。</p>	1				

<p>○ どのようにして調べていくかその方法を話し合わせ、学習計画を立てる。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">わたしたちの生活に役立つ情報について調べよう。</div> <p>追究の柱 1 携帯電話とインターネットやテレビをわたしたちの生活に役立てるためにどのような使い方があるか調べよう。</p> <p>追究の柱 2 携帯電話とインターネットの問題点について調べよう。</p>					
<p>○ 自分が使用した経験ばかりでなく、親や年上の兄弟等の感想もアンケートをとる。</p>	<p>2 追究の柱 1 携帯電話とインターネットやテレビをわたしたちの生活に役立てるためにどのような使い方があるか調べよう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">わたしたちの生活の中でもいろいろな情報を活用することができさらに生活が便利になってきている。</div>	2		2	<p>2 追究の柱 1 自分たちの調べたい国について文化や習慣を調べよう。</p>	<p>○ つながりが深い国の判断基準を輸出入の多さから考えるように示唆し、自分たちの身の回りの物でなくてはならないものを挙げさせる。</p>
	<p>※ 他教科授業</p>			3	<p>3 文化や習慣を調べる</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">自分たちが調べた国には、歴史ある文化とおもしろい習慣がある。</div>	
<p>○ テレビ電話を活用し、話を聞き、知りたい情報を収集する。</p> <p>○ 被害について、インターネットや新聞記事等を利用して探させ、被害の種類については分類させておく。</p>	<p>3 追究の柱 2 携帯電話とインターネットの問題点について調べる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">情報を活用するときに犯罪にまきこまれたり、いじめが起こったりすることが増えてきている。</div>	3		4	<p>4 追究の柱 2 その国の自然や産業について調べる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">自分たちが調べた国には、歴史ある文化と興味深い習慣がある</div>	<p>○ 二人組で調べさせることにより、個人差を減少させ、協力して物事にあたることができるようにする。</p>

	※ 他教科授業			5	5 調べたことをまとめ、発表の準備をする。	○ 奄美在住の韓国の方とテレビ電話をつなぎ、韓国について詳しく調べさせる。
○ 提示機器の操作については、十分指導しておく。	4 調べたことをまとめ、発表の準備をする。	4		6		○ 提示機器の操作については、十分指導しておく。
	5 調べたことを発表する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 情報を活用するときは、犯罪にまきこまれたり、他人を傷つけたりしないよう十分に気を付ける必要がある。 </div>	5		7	6 5年生の発表を聴き、自分の意見や感想を言う。	○ 新教科書であることからメディアリテラシーを身につけるために大切な態度を5年生と共に考え、まとめさせる。
	6 6年生の発表を聴き、自分の意見や感想を言う。 7 本時のまとめをする。	6 【本時】		8	7 調べたことを発表する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> これからいろいろな国と共に生きていくためには、おたがいの文化や習慣を理解し合うことが大切である。 </div>	○ 他国の良さだけでなく、自国の良さも強調し、尊重する気持ちと態度を強化する。

6 本 時 (5年 7/7 6年 9/9)

(1) 目 標

- | | |
|--|---|
| ○ 6年生の発表を聴き、自分なりの意見や感想をもち、発表することができる。 | ○ 自分たちが調べたことを提示機器を活用して、分かりやすく発表することができる。 |
| ○ 来年度学習する単元を知り、日本とつながりの深い国々に興味関心をもつことができる。 | ○ それぞれの国には大切にしている文化や習慣があることや外国の人々と共に生きていくためには、異なる文化や習慣を尊重することが大切であることを理解することができる。 |

(2) 指導に当たって

ア 6年生の調べ学習の発表であるので、6年生に重点を置くが、後半は5年生の感想等の発表もあるので、その部分にも重点を置いて指導していく。	
イ 発表が効果的にできるよう、パワーポイントを電子黒板に映し出し、発表させる。	【視点2 提示資料の工夫】
ウ ワークシートを工夫し、子どもたちが自力で解決できるような工夫をしていく。	【視点3 ワークシートの活用】
エ 子どもたちが主体的に活動できるように、ガイド役(司会・進行)の子どもと十分打ち合わせをしておく。また、ガイドの手引きを作成しておき、本時の目標からずれない話し合いができるようにしていく。	【視点4 ガイド学習の育成】

オ 来年度、学習する単元であることを念頭に入れさせ、来年、自分ほどのような学習活動をしていくかを思い浮かばせる。	オ 次時の単元と本単元は系列的なつながりがあることを理解させ、次時の活動へつなぐ。
--	---

(3) 展開 5年6/6時間 6年8/8時間

過程	指導上の留意点	主な学習活動 (第5学年)	主な学習活動 (第6学年)	指導上の留意点
つ か む 5 分	<ul style="list-style-type: none"> ○ 発表を聞き日本と外国の違いからお互い共生するためどのようなことが大切か考えていくことを確認する。 ○ 前時を想起させ、6年生の聞き方の態度を思い起こし、聞くときや発表するときに気を付けることを確認させる。 <ul style="list-style-type: none"> ◇ 発表できたか ◇ しっかり聞けたか ○ 学習に見通しをもたせるために、学習の進め方を提示し、確認させる。(進行表の提示) 	<p>1 本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">6年生の発表を聞き、質問したり、自分の考えをもったりしよう。</div> <p>2 発表の進め方や聴き方、ワークシートの使い方を確認する。</p>	<p>1 本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">他の国の人々と共に生きていくためには、どのようなことが大切なのだろう。</div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 発表を聞き、日本と外国の違いから共生するための考え方や態度を考えていくことを確認する。 ○ 学習の見通しをもたせるために、学習の進め方を提示し、常に進行状況が確認できるようにする。(進行表の提示) ○ 提示機器の操作について十分指導しておく。(機器使用のマニュアル)
調 べ る 28 分	<ul style="list-style-type: none"> ○ 分からないところは質問させたり、教師が補足したりする。 ○ 各国の発表が終わる度に、その都度、分かったことや感想を記入後、発表させる。 	<p>3 4カ国の発表を行い、気付いたことをワークシートに書き、感想を発表したり、質問をしたりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ アメリカ ○ 中国 ○ 韓国 ○ サウジアラビア <p>4 他の国の人々と共に生きていくために、どのような考え方や態度が必要か考える。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 自分の考えをもつ。 ② グループで話し合う。 		<ul style="list-style-type: none"> ○ 分からないところは質問させたり、教師が補足したりする。 ○ 電子黒板上でパワーポイントを使っての発表をさせる。 ○ 他の班の発表を聞く際は、一つ一つの国ごとに特徴を捉えられるように、各国の類似点と相違点を書き入れる表にしたワークシートを作成する
ま と め る 12 分	<ul style="list-style-type: none"> ○ 他のグループの意見を聞いて自分たちと同じ所や違う所を発表しながら話し合わせる。 ○ 次時から、5年生最後の単元に入ることを伝え、今回の情報収集の方法や収集上の注意点などを生かして学習活動を展開することを確認する。 	<p>5 他の国の人々と共に生きていくために、どのような考え方や態度が必要か発表して全体で話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">これからいろいろな国と共に生きていくためには、おたがいの文化や習慣を理解し合うことが大切である。</div> <p>6 次時の学習について確認する。</p>	<p>6 次時の学習について確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 争いの歴史も調べさせておき、共存の方法を模索させる。 ○ 他のグループの意見を聞いて自分たちと同じ所や違う所を発表しながら話し合わせる。

(4) 評価

来年度、学習する単元を知り、日本とつながりの深い国々に興味・関心をもつことができたか。

それぞれの国には大切にしている文化や習慣があることや外国の人々と共に生きていくためには異なる文化や習慣を尊重することが大切であることを理解することができたか。